

12人の怒れる男 (2007)

12

メディア 映画

ジャンル ドラマ サスペンス

製作国 ロシア

色彩 Color

時間 160分

初公開日 2008/08/23

公開情報 ヘキサゴン・ピクチャーズ=アニープラネット

【キャッチコピー】

少年の運命は、12人の陪審員に委ねられた

【解説】

シドニー・ルメット監督による不朽の名作「十二人の怒れる男」を、ロシアの名匠ニキータ・ミハルコフ監督が現代のロシアに置き換えてリメイクした緊迫の法廷ヒューマン・サスペンス。有罪確実と思われた裁判の評決を巡り、思いがけず議論白熱となる12人の陪審員の姿を通して、人を裁くことの難しさや現代ロシアが抱える様々な社会問題を描き出す。

ロシアのとある裁判所で世間の耳目を集めたひとつの殺人事件が裁かれていた。被告人はチェチェンの少年。養父であるロシア軍将校を殺害した罪に問われ、検察は最高刑に当たる終身刑を求刑。3日間の審理も終わり、残すは12人の陪審員による評決を待つばかりとなる。いくつもの状況証拠から、有罪は誰の目にも明らかと思われた。陪審員たちの中にも簡単に済ませてしまおうとの空気が流れ、直ちに挙手による投票が行われた。ところが、11人が有罪に手を挙げる中、ただひとり、陪審員1番の男だけが遠慮気味に無罪に1票を投じる。有罪票を投じた男たちは、陪審員1番の思いがけない行動に不快感を露わにするが…。

【クレジット】

監督	ニキータ・ミハルコフ	Nikita Mikhalkov	
製作	ニキータ・ミハルコフ	Nikita Mikhalkov	
	レオニド・ヴェレシュチャギン	Leonid Vereschagin	
脚本	ニキータ・ミハルコフ	Nikita Mikhalkov	
	ヴラディミール・モイセイエンコ		
	アレクサンドル・ノヴォトツキイ=ヴラソフ	Aleksandr Novototsky-Vlasov	
撮影	ヴラディ斯拉フ・オペリヤンツ	Vladislav Opelyants	
美術	ヴィクトル・ペトロフ		
音楽	エドゥアルド・アルテミエフ	Eduard Artemyev	
出演	セルゲイ・マコヴェツキー	Sergei Makovetsky	陪審員 1
	ニキータ・ミハルコフ	Nikita Mikhalkov	陪審員 2
	セルゲイ・ガルマッシュ	Sergey Garmash	陪審員 3
	ヴァレンティン・ガフト	Valentin Gaft	陪審員 4
	アレクセイ・ペトレンコ	Aleksei Petrenko	陪審員 5
	ユーリ・スタヤノフ	Yuri Stoyanov	陪審員 6
	セルゲイ・ガザロフ	Sergei Gazarov	陪審員 7
	ミハイル・イエフレモフ	Mikhail Yefremov	陪審員 8
	アレクセイ・ゴルブノフ	Aleksey Gorbunov	陪審員 9

セルゲイ・アルツィバシェフ
ヴィクトル・ヴェルズビツキー
ロマン・マディアノフ
アレクサンドル・アダバシヤン
アプティ・マガマイエフ

Sergei Artsybashev
Viktor Verzhbitsky
Roman Madyanov
Aleksandr Adabashyan
Apti Magamaev

陪審員10
陪審員11
陪審員12
廷吏
ウマル